第 19 期 決 算 公 告

平成28年8月26日

東京都目黒区鷹番一丁目1番10号

株式会社インテリックス空間設計

代表取締役社長 山本 卓也

貸 借 対 照 表

— 平成28年5月31日現在

株式会社インテリックス空間設計

(単位: 千円)

資 産	の	部			負	ſ	責	の	部	
科	目	金額	科					目	金	額
【 流 動 資 産]	956,873	[流	動	負	債]		633,622
現金及び預	金	115,444	工	事	Ę	未	払	金		304,814
完成工事未収入	金	649,350	短	期	1	昔	入	金		122,500
未成工事支出	金	170,332	_	年 内 返	済予	定長	期借力	金ノ		40,608
材 料 貯 蔵	品	2,520	未		1	7		金		10,931
前 払 費	用	7,988	未		払	孠	青	用		63,255
繰 延 税 金 資	産	_	未	成	工	事 5	受 入	金		60,207
その	他	11,235	完	成 工	事	浦 償	引 当	金		4,400
			未	払	法	人	税	等		250
【 固 定 資 産]	407,232	未	払	Ŷ	肖	費	税		23,160
(有形固定資産)	385,793	そ		C	り		他		3,493
建物及び構築	物	127,634	[固	定	負	債]		130,801
工具、器具及び備	品	7,840	長	期	ſ	昔	入	金		129,080
土	地	250,319	長	期	Ę	卡	払	金		1,721
			負	責			合 :			764,424
(無形固定資産)	1,146		純		資	産		の音	形
電 話 加 入	権	436	[株	主	資	本]		599,682
ソフトウェ	ア	710	資		7	本		金		20,000
(投資その他の資産)	20,292	資	本	3	制	余	金		_
出資	金	11,020		資	本	準	備	金		_
長 期 前 払 費	用	224	利	益	Ī	制	余	金		579,682
差入保証金敷	金	9,048		その	他和	钊 益	剰 余	金		579,682
繰 延 税 金 資	産	-		繰	越	利 益	剰 余	金		579,682
その	他	0	純	資	į.	産	合	計		599,682
資 産 合	計	1,364,106	負	債	純	資	全	計		1,364,106

(当期純損失金額

 \triangle 58,056)

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

注記表

【重要な会計方針に係る事項】

- 1. 資産の評価基準及び評価方法
 - (1) たな卸資産
 - ① 未成工事支出金・・・・・・・・・・・・個別法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)によっております。
- 2. 固定資産の減価償却の方法

よっております。

- (2) 無形固定資産・・・・・・・・・・・・・・・・・・・自社利用のソプトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。
- (3) 長期前払費用・・・・・・・・・・・・ 均等償却によっております。
- 3. 引当金の計上基準
 - (1) 完成工事補償引当金・・・・・・・・・・・ 完成工事補償費の支出に備えるため、過去の実績を基礎として見積算出額を計上しております。
- 4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

 - (2) 消費税等の会計処理方法・・・・・・・・・・・・消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によって おります。
- 5. 会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取り扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当事業年度に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。 これによる当事業年度の損益に与える影響額はありません。

【株主資本等変動計算書に関する注記】

1. 当事業年度末日における発行済株式の数 普通株式 400 株

2. 当事業年度末日における自己株式の数 該当事項はありません。

3. 当事業年度中に行った剰余金の配当 該当事項はありません。

4. 当事業年度の末日において発行している 該当事項はありません。 新株予約権の目的となる株式の数

【1株当たり情報に関する注記】

1.1株当たり純資産額 2.1株当たり当期純損失 1,499,205 円 67 銭 △ 145,140 円 51 銭

【重要な後発事象に関する注記】

該当事項はありません。